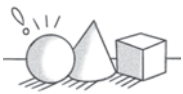


役立つ！ 会務活動



vol.6

陰日向の貢献を目指して

会員 岩田 朋子 (71期)

私が所属する「高齢者・障害者の権利に関する特別委員会」の活動について、成年後見等に関する研修や名簿の管理を行う「高齢者・障害者総合支援センター（通称「オアシス」）」の運営が挙げられます。また、関連する各種制度や法令について、研究や法律相談の実施なども行っており、まさにその名のとおり、高齢者・障害者にかかわる分野について全般的な活動を行っている委員会となります。

私は大学時代に社会保障法を専攻するなど元々社会保障分野に関心がありました。その後成年後見人の職務に興味を持ったこともきっかけとなり、1年目は研修員として2年目以降は正委員として所属しています。

最近の本委員会に3つある部会の一つである福祉制度部会において、障害者差別解消法改正に伴う弁護士会内の相談体制整備に向けたマニュアル策定作業に取り組んでいます。

障害者差別解消法に関して「合理的配慮」という言葉がしばしば取り上げられます。その「合理的配慮」について今回の法改正に伴い、民間団体でも提供が義務化されることになりましたが、マニュアル策定を進める中で、それは障害を持った方のみならず全ての人が生活

しやすい環境づくりにつながるものと気づかされます。

自分の興味のある分野について経験豊富な先輩方との関係を築けることは、委員会に所属する大きなメリットだと思います。継続的な参加により、当初の傍観的な立ち位置から、少しずつ関与の範囲が広がっていると感じています。業務との両立に格闘することもあります。今後も写真の椿と枝垂れ梅（京都の城南宮にて撮影しました）のように陰に日向に貢献できればと考えています。

新入会員の方をはじめ、委員会への所属を検討されている方はぜひ（本委員会も含め）委員会活動を覗いてみてください！



こちらから読んでね

大型連休



採否は編集会議の判断になりますので
ご了承ください